



バンコク観光の定番である寺院めぐり、そのなかでも外せないのが、巨大な黄金の涅槃（ねはん）仏がおわすワット・ポー、そしてここワット・アルンである。

ワット・アルンは三島由紀夫の小説「暁の寺」の舞台として日本でも有名な寺院である。

その見どころは高さ81mの仏塔と神話の彫像が精巧にほどこされた、その台座となる。

この寺院を今宵、誰一人いないチャオプラヤ川の対岸からのぞむ。

ライトアップされ黄金色に輝く建築物に暫し息をのみながら、三島由紀夫の世界に思いを馳せる。